

「大阪湾ベイエリアの活性化方策に関する調査」(まとめ)

I 大阪湾ベイエリアを含む近畿地域の現状

近畿地域・大阪湾ベイエリアの産業集積・企業立地の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ベイエリアは近畿地域の産業の枢要を占める ○工場等制限法の廃止2002年(平成14年)以降、ベイエリアに企業立地が進展 ○加工組立型産業、基礎素材型産業、物流拠点の立地が進んでいる ○医療産業拠点、大学立地といった新しい産業拠点形成が進んでいる ○立地要因として資源確保とインフラが重視されている
近畿地域の企業活動の変化方向	<ul style="list-style-type: none"> ○製造業の国内回帰が進んでいる ○低炭素型社会の実現に向けた動きが進んでいる
大阪湾ベイエリアの土地利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模産業用地の供給面で限界が生じている ○ベイエリアの産業用地は、急速に埋まりつつある ○民有地の状況把握が困難な状況にある
大阪湾ベイエリアと内陸部を結ぶインフラの整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ベイエリア内、ベイエリアと内陸部とを結ぶ道路ネットワークにミッシングリンクが存在
国・自治体による企業立地促進施策とその効果及び規制による立地への弊害	<ul style="list-style-type: none"> ○税制優遇、補助金・助成金等、規制緩和(容積率の緩和、工場立地法上の緑地率の緩和等)、金融支援、手続き支援(ワンストップ化)等に取り組んでいる
大阪湾ベイエリアの大規模立地が近畿地域へもたらす経済波及効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ベイエリアにおけるフラットパネルディスプレイ製造等の大規模製造業の立地は、近畿地域全体へ経済効果をもたらしている ○内陸県への経済波及効果も期待できる

II 近畿地域における立地ニーズ

インフラの評価・ニーズ	<p>【道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミッシングリンクが存在、大阪・神戸市内で渋滞が発生 ○大型貨物の運行規制の緩和、料金値下げ <p>【港湾・空港】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集荷時間の延長等への要望 ○航路・路線の充実の要望(方面・便数) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インフラの整った産業用地の提供 ○賃借方式による産業用地供給 ○物流効率化の支援
施策ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ○立地優遇策の拡充 ○労働力確保・人材育成への支援 ○環境対策に関する支援 ○緑地規制等に関する緩和 ○光熱費、原料費に対する支援 ○周辺住民との共存 ○誘致のためのツール作成 ○対応のスピードアップ
成長産業への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー、電池 ・次世代情報家電 ・ロボット ・バイオ ・航空、宇宙 等
立地選択要因	<ul style="list-style-type: none"> ○既存工場、取引先等との近接性 ○人材確保の容易性 ○操業環境の良さ ○交通アクセスの利便性 ○従業員の労働環境 ○支援施策の充実

III 大阪湾ベイエリア地域を核とした近畿経済活性化に向けた方策

